カブドットコム証券コミュニケーションブック

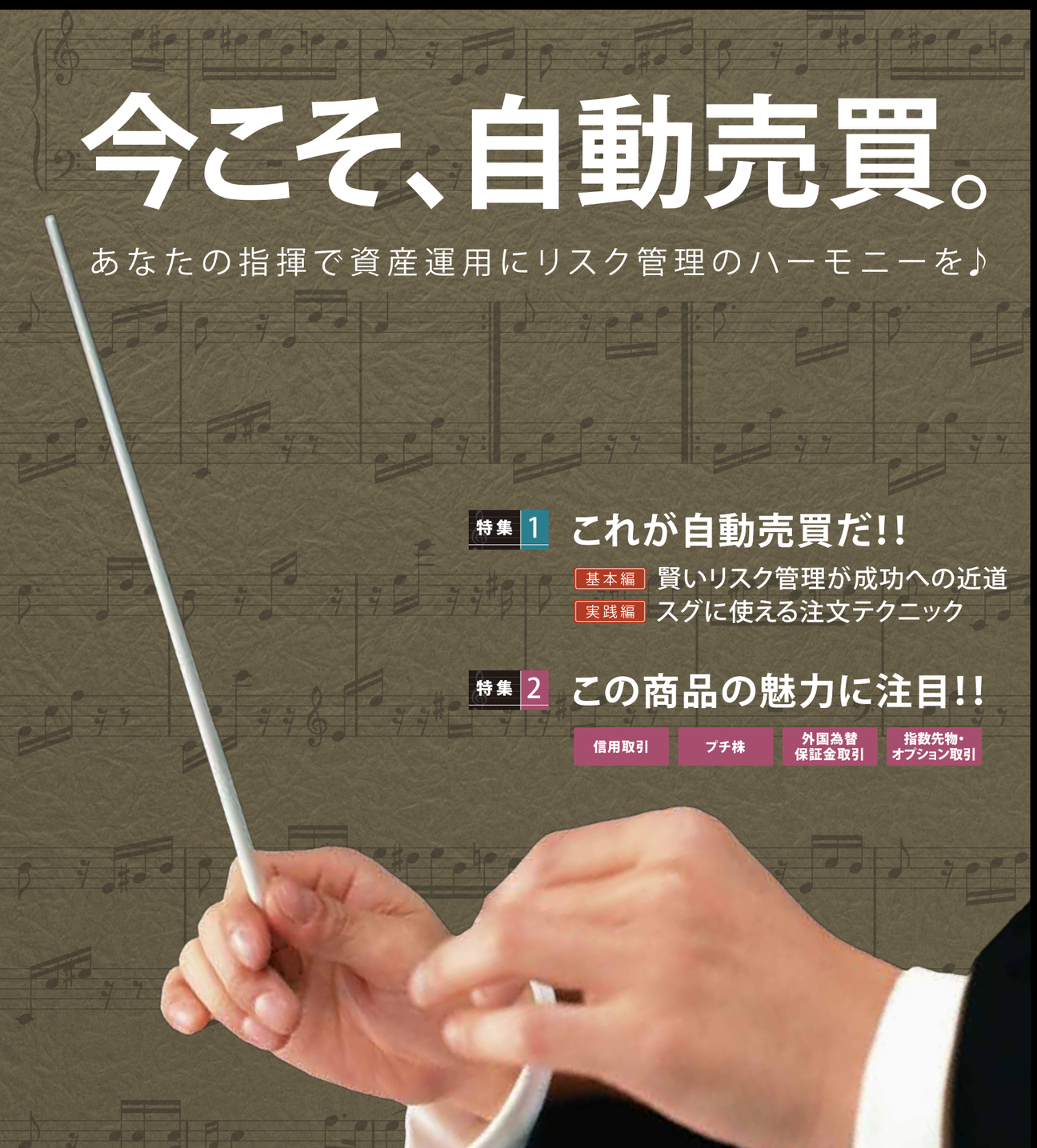
保存版

kabu.yomu

カブドット読む 2009 Autumn

今こそ、自動売買。

あなたの指揮で資産運用にリスク管理のハーモニーを♪



特集 1 これが自動売買だ!!

基本編 賢いリスク管理が成功への近道

実践編 スグに使える注文テクニック

特集 2 この商品の魅力に注目!!

信用取引　プチ株　外国為替保証金取引　指数先物・オプション取引

カブドットコム証券株式会社
東京証券取引所第1部【8703】
加入協会／日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会
金融商品取引業登録番号／関東財務局長（金商）第61号
銀行代理業許可番号／関東財務局長（銀代）第8号

定価 0円

カブドットコム証券コミュニケーションブック kabu.yomu カブドット読む 2009 Autumn 今こそ、自動売買。

kabu.com

カブドットコム証券

わたしたちはMUFGです。

http://kabu.com

取引手数料（税込）

▶ 現物株式取引手数料（インターネット取引の場合）

約定代金	2万円以下	20万円以下	100万円以下	1000万円以下	1000万円超
取引所取引※1（成行）	105円	500円	1,050円	1,890円	1000万円を超える部分に対して100万円ごとに42円加算
kabu.comPTS※2（成行・指値・自動売買等）	378円				

現物株式取引は、割引プラン「シニア割引」「株主推進割引」「ファンドDE割引」「株主優待」「kabuマシーンの日」の対象です。kabu.comPTSの割引プランは「ファンドDE割引」のみになります。

●インターネット取引は、Web対応携帯電話、モバイルツールを含みます。●自動音声応答（電話）経由の場合は105円、オペレーター（電話）経由の場合は2,100円が加算されます。
※1 成行以外の執行条件（指値、逆指値等）は525円、ジャスダックは、別途約定代金の0.0315%が加算されます。※2 成行、指値、自動売買等の執行条件にかかわらず適用されます。

＜貸株サービスの注意点＞ ●貸株料の料率は毎月更新します。●貸株サービスのご利用にはご契約が必要です。契約条件・契約方法についての詳細および最新情報は当社ホームページにてご確認ください。●貸株サービスにお申し込みいただいた株数すべてに応じられない場合もあります。契約条件・契約方法・最新の貸株利率・税務上の取扱、その他の注意点・ルールについては当社ホームページにてご確認ください。●なお、自動優待取得設定は東洋経済新報社の株主優待の権利確定日情報を元にしています。●東洋経済新報社の優待情報で権利確定日が明示されていない銘柄（随時等）は対象外のため、株主優待権を取得するには権利付最終日にあわせて貸株を解除（返却）する必要があります。

●証券投資・外国為替保証金取引（FX）は価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。●信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・外国為替保証金取引は、取引金額が保証金・証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。●信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・カバードワラントには期限があり、期限を越えてのお取引はできません。●kabu.comPTS（私設取引システム）は、取引所とは異なるため、一般的に流動性が低く値動きが大きくなる可能性がありますので、お取引の際は、ご注文状況をご確認の上でご注文ください。●自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。●各商品等へのご投資には、商品ごとに所定の手数料等が必要です。手数料・金利・保証金・証拠金の最新情報を当社ホームページにてご確認ください。●お取引の際は、約款・規定集および契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスクおよびお取引ルール等を十分ご理解の上、銘柄・通貨ペアの選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身の判断と責任において行ってください。
※本冊子に掲載されている情報は2009年9月1日現在のものです。最新情報および詳細情報は当社ホームページにてご確認ください。

0120-390-390 携帯電話・PHSからは 03-6688-8888
［オペレーター受付時間：平日・午前8時～午後5時　自動音声応答受付時間：24時間資料請求受付中］

Quality for You

MUFG

【東証1部:8703】【商号:カブドットコム証券株式会社】【加入協会:日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会】
【金融商品取引業登録番号:関東財務局長（金商）第61号】【銀行代理業許可番号:関東財務局長（銀代）第8号】

kabu.yomu

カブドットコム証券
コミュニケーションブック

カブドット読む 2009 Autumn

INDEX

P.01 **ご挨拶**
リスク管理に役立つ「自動売買」を あなたの資産運用にご活用ください。
カブドットコム証券 代表執行役社長 **齋藤 正勝**

P.03 特集 1
これが自動売買だ!!
資産運用に役立つポイントを余すところなくご紹介
P.03 | 基本編 賢いリスク管理が成功への近道
P.05 | 実践編 スグに使える注文テクニック
P.09 | FAQ よくある質問にお答えします
カブドットコム証券 執行役営業本部長 **臼田 琢美**

P.13 **創業10周年を迎え、さらに“安心・安全”なカブコムへ**

P.14 特集 2
この商品の魅力に注目!!
スグにでも始めたい「なるほど!」ラインナップ
P.14 | 信用取引
P.15 | プチ株
P.16 | 外国為替保証金取引(FX)
P.17 | 指数先物・オプション取引
お役立ちWEBコンテンツをピックアップ
カブドットコム証券 マーケットアナリスト **藤本 誠之**

P.19 **カブコムNEWS 2009Autumn**
注目の最新ニュースをお届けします

P.21 **特定口座＆配当金自動受取サービス**

広告 P.11 東京証券取引所 P.22 大阪証券取引所

kabu.com

当社は本年創業10周年を迎えます。
役職員一同、新たな気持ちでネクスト10年に向けての
事業戦略の構築とそれを支える内部統制、
内部管理体制基盤の強化を図ってまいります。

昨年のリーマン・ショックから早くも1年が経過しましたが、まだ世界経済は予断を許さない状況にあると考えられます。
“株価も最悪期は脱しチャンス到来!”という声も聞こえるようにはなったものの“いやいや、まだ不安は尽きない”など、お悩みの方も多いのではないでしょうか。

では、このような状況において、利益を伸ばし損失を抑えるためにはどうするべきか。
そう、今こそ当社が訴え続けてきた「自動売買によるリスク管理」が、非常に重要な意味を持つのです。

お客さまが指揮する資産運用のオーケストラに、当社のご提供する様々な金融商品や自動売買をはじめとする「リスク管理追求型サービス」が最適なハーモニーを発揮することを願ってやみません。

今回の「カブドット読む」では、お客さまにより良い資産運用を実現していただくため、あらためて自動売買について詳細に解説するとともに利用価値のある取扱商品もご紹介しております。ぜひ、お役立てください。

なお、おかげさまで当社は創業10周年を迎えます。これもひとえに皆さまの温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

今秋以降も新たな商品やサービスを続々と投入し、お客さまの投資成績に貢献していきます。それこそが、当社のさらなる発展に繋がるという初心を忘れずに、前進して参る所存です。
今後とも末永いご愛顧を、よろしくお願い申し上げます。

カブドットコム証券 代表執行役社長
齋藤 正勝

あなたが指揮する 資産運用のオーケストラ。
―――― 今こそ、リスク管理に役立つ「自動売買」をフル活用してください。

口座番号・パスワード をお忘れの方は、
オペレーター受付時間内に下記の電話 番号までお問い合わせください。

0120-390-390

オペレーター受付時間：平日・午前8時～午後5時

※お問い合わせの際は、本人確認のため、当社からお客さまが登録されている電話番号にお電話をかけさせていただきますので、ご登録の電話番号の電話からご連絡ください。

パスワードをお忘れの場合
本人確認後、パスワードを初期化します。初期パスワードは口座開設時にお送りした「口座開設のご通知」に記載していますので、そちらをご確認ください。

口座番号・パスワードをお忘れの場合
本人確認後、パスワードを初期化したうえで、口座番号・パスワードを記載した「口座開設のご通知」を再発行し、送付します。

これが自動売買だ!!

リスク管理の代名詞、自動売買を大特集!

基礎から応用まで、資産運用に役立つポイントを、余すところなくご紹介します。

基本編

賢いリスク管理が成功への近道

リスク管理は難しいものじゃない

資産運用において「リスク管理」が非常に重要であると、私どもカブドットコム証券では開業時から10年訴え続けてきました。お客さまの投資成績に貢献すべく、逆指値をはじめとする「自動売買」や自動通知サービス等、リスク管理に役立つサービスを提供し続けている理由はまさにここにあります。

古くからのお客さまは、その過程や当社の考えをご理解いただいているかと思いますが、**比較的新しく口座開設されたお客さまはご存じないかも知れません**。そこで、今回の「カブドット読む」では、リスク管理の切り札とも呼べる「自動売買」を大特集!　基本から実践までたっぷりと解説させていただきます。

株式投資をはじめとする資産運用は、普通の商売やビジネスと基本的には同じようなものです。資産運用に慣れていない方は、何か特別なものとして捉えてしまいがちですが、それこそ失敗の元ではないでしょうか。

時代の流れや自分の得手不得手を踏まえて、上手くいっていることは継続し、上手くいかないことは改善したり中止する。普通の商売やビジネスならこんな風にするはずです。また、さまざまな予測が完璧なら商売大繁盛、ビジネス大成功間違いなしですが、実際そのように上手くはいかないことをご理解いただけるはずです。

そして、予測は外れる場合もあることを認識し、失敗しないようにどうするか、失敗した場合どうするか、と考えを巡らせたり対策を講じたりするはずです。まさにリスク管理。商売やビジネスでは当然のことでしょう。

資産運用もこれと同じなのです。自分の苦手なこと、理解できないことをやっても上手くいきませんし、完璧に予測することもできません。だから、**失敗しないようにするか、失敗した場合どうするか、のリスク管理が欠かせない**のです。

ところが、資産運用になると、上手くいったものは早々に利益確定し、失敗したものは対処せず放置。予測ばかり考えて失敗したときのことは考えておかずリスク管理ができていない。こんな風になりがちです。

資産運用においても普通の商売やビジネスと同じようにリスク管理をしていく。そして失敗を防いだり、失敗しても被害を拡大させないようにする。このようなリスク管理が徹底できていれば、思い切った判断も、リスクを取ったチャレンジもしやすくなります。

やりたいことを〝設定〟できる自動売買

リスク管理に役立つ「自動売買」ですが、実は何も難しく考えることはありません。機能としては、売買において「やりたいことを設定できる」ものに過ぎません。「この株が○円で売れたらあの株を買おう」「前の安値を下回ったらもっと下がりそうだから売っておこう」といった、**やりたいことを設定できる便利な注文方法が自動売買**なのです。

この自動売買を駆使すると、マーケットをリアルタイムに見ていなくても、**仕掛けから利食いまたは損切りまで一連の流れを設定**することができます。自宅で朝に発注して仕事に出かけ、帰ってきたら儲かっていた(または損していた)、ということもあります。

また、例えば逆指値の「いくらまで下がれば売り」「いくらまで上がれば買い」という仕組みは、実際に投資をする上でも大いに参考になるものです。人は当然、少しでも安く買いたい、少しでも高く売りたい、と考えるわけですが、そうすると「下がっているものを買う」「上がっているものを売る」という、流れに逆行した行動となってしまうリスクがあります。少しでも安く買いたいといった〝欲〟が、トレンドに逆らう行動に結びつくわけです。

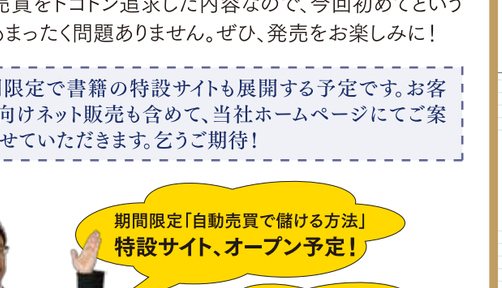
それを逆指値の仕組みが、「そうじゃないやり方があるよ」と教えてくれる。つまり、実際の売買で活用しなくても、**その仕組みを知ることによって、売買のコツを学べる効果が期待できる**のも自動売買を知っていただきたい理由です。

この後、具体的な例を交えてご案内させていただきますので、ぜひご参照ください。また、当社ホームページにて、さまざまな解説コンテンツをご用意しておりますので、そちらもぜひご活用ください(18ページをご覧ください)。皆さまの資産運用のご成功を、心から祈念申し上げます。

カブドットコム証券
執行役営業本部長　**臼田 琢美**

証券会社などを経て、日本オンライン証券(現カブドットコム証券)の設立に従事し、現在に至る。30万部突破のベストセラー『株の自動売買でラクラク儲ける方法』(ダイヤモンド社)を生んだ仕掛け人。他にも、『株の世界の歩きかた』(日本経済新聞社)など。

30万部突破の
ベストセラーが生まれ変わる!
『「株」の自動売買でラクラク儲ける方法』
改訂版　この秋、いよいよ発売!



**自動売買のすべてが凝縮された
あの伝説の書籍が満を持して改訂!**

2004年1月に発行し30万部を突破した『**「株」の自動売買でラクラク儲ける方法**』の改訂版が、満を持して今秋登場します!
(10月22日発売予定)
投資本の概念を一新し、国内外で類似本が続出した同書は、カブドットコム証券初めての公式本で、当社ホームページでの販売だけでも3万部を超えた伝説的な書籍です。しかし、作成から約6年。ロゴの色もホームページも変わり、多くの方から「改訂版を早く!」とお叱り混じりのご要望が絶えませんでした。
お待たせして申し訳ございませんでした。カブコム10周年の今秋、ついに改訂版が登場します。

**内容を全面刷新。さらに"使える"情報が
随所に散りばめられています!**

しかも、これはただの改訂版じゃなく、約6年の進化や蓄積をフル活用した「全面刷新」と呼べるほどのものです。以前の『「株」の自動売買でラクラク儲ける方法』をお持ちの方でも、「ほとんど同じ内容じゃないか」と落胆することはないでしょう。また、改訂版は基本的な解説から実践的な活用例まで、自動売買をトコトン追求した内容なので、今回初めてという方でもまったく問題ありません。ぜひ、発売をお楽しみに!

期間限定で書籍の特設サイトも展開する予定です。お客さま向けネット販売も含めて、当社ホームページにてご案内させていただきます。乞うご期待!

詳しくは近日中に当社ホームページで
ご案内させていただきます。

損失の拡大をどう防ぐか まずは、リスク管理の第一歩

逆指値でのロスカット

はじめにマスターしていただきたいのは、やはり逆指値でのロスカット（損切り）です。リスク管理の第一歩として、ロスカットは避けて通れない選択だと言えます。

良いと思って買ったものの思惑通りいかず下落、放置して損失が拡大…。いよいよ耐えられなくなって大きな損失で売却したり、待ってしばらく戻ってきたところでヤレヤレ売り、と初動の遅れが後々までひびき、利益になるケースはめったにない…。こういった悪循環を避けるためにロスカットを早めに行い、損失の拡大を防ぎ、次の挽回チャンスに備えるという戦略が必要になります。

ところで、「どこでロスカットすればよいかわからない」と思うかもしれませんが、利食いでも様子見でも損切りでも、今後の動きを完璧に見通せることはありません。だからロスカットは早めに行い、まずは損失の拡大を防ぐわけです。

もしそのロスカットが失敗だったとしても、買い直すことができるのが良い点でもあります。様子見が失敗だった場合、後で後悔してももはや策は限られています。ネガティブな意味で「狼狽売り」という言葉がありますが、リスク管理を考えた場合、むしろ積極的に狼狽売りをした方が良いとも言えます。

まずは投資額を減らし損失の拡大を防ぐことにより、落ち着いて冷静な判断もしやすくなります。そして安くなったところで買い直す、もっと良い銘柄に乗り換える、といった選択肢が増えるメリットもあります。「悩んだらロスカット」が基本なのです。

ロスカットの基準は、各自の投資方針等によって投資判断が異なるので、画一的な答えはありません。主なポイントは「株価」「変化」「許容範囲」の3つです（下記参照）。

「何%下がったら」といった方法もありますが、それは各自のルール決めであり、何%下がったらロスカットするのが良い、というものではありません。下記の「ロスカットの基準となる主なポイント」を踏まえつつ自分のルールを決めて実行するのが良いと思います。そして、ぜひ記録を付けて定期的にご自身の取引動向／特徴を分析することをお勧めします。問題点に気づけば改善し、売買の実力アップにつなげていきましょう。

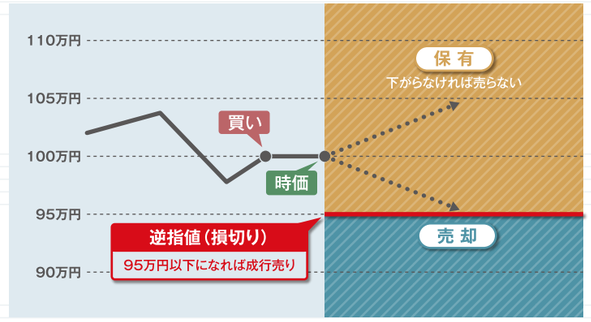
ロスカットの基準となる主なポイント

株価 過去の安値やトレンド線などを基準にする方法
多くの投資家が着目するところであり、特に短期売買では目安とされます。

変化 買った理由などに変化があったときに行う方法
買い材料がなくなったり変化した際は売却も検討すべきで、中長期投資での目安です。

許容範囲 各自の「損失の許容範囲」を基準にする方法
「最後の砦」と言える基準で、明確な理由なくここまで放置すべきではありません。

逆指値でのロスカットの例



「100万円で買った銘柄、95万円を切って下がってきたらもっと下がりそうなので売った方がよさそう…」という場合、下記のように設定します。

売り注文画面

ご注意 逆指値などの自動売買でも、市場に発注されている注文は、成行や指値といった市場が受け付けている注文方法なので、約定するかどうか、いくらで約定するかは通常の市場のルールに基づきます。逆指値の条件にヒットしたから必ず約定するというものではありません。

ボックス相場を上下で狙い 利食いと損切りをまとめて設定

Uターン W指値注文

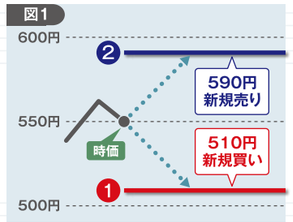
ある程度の値幅の中で上下動している、いわゆるボックス相場の銘柄。「安値近辺で買って、高値近辺で売ろう」「信用取引も活用して高値近辺で売って、安値近辺で買い戻そう」という狙いでの自動売買の活用例です（以下、説明簡素化のため、売り買い共に信用取引での取引例とします）。

例えば、安値５００円～高値６００円のボックス相場で、現在値が５５０円の場合、❶安値近辺の５１０円での新規買い指値と❷高値近辺の５９０円での新規売り指値を出します（図1）。下がった場合は❶５１０円新規買い指値で、上がった場合は❷５９０円新規売り指値で利益を狙い、どちらかが約定すれば片方を取り消します。

ここまでなら自動売買ではなく普通の指値ですが、カブコムの「Uターン注文」を活用すればさらに便利に。Uターン注文は、例えば買い注文を出す際に、売り注文の予約まで設定できるという便利な発注方法です。もし、５８０円で利食いたいなら、❶の５１０円新規買い指値と同時に５８０円返済売り注文を設定できるのです。これがUターン注文の基本ですが、さらにリスク管理を高めた活用法もあります。

指値注文を使った両面待ちで利益を狙うケース

図1



「Uターン注文」と「W指値」を活用すればさらに、リスク管理を極めることができます（図2、図3）。

ボックス相場で怖いのは、前提であるボックス相場が崩れること。いつもなら５００円近辺で反転するのに、５００円を割ってしまった。このような、下値のメドが分からなくなりいち早く売りたいといった場面で役立つのが「W指値」です。W指値とは、指値注文を出しつつ逆指値も設定しておける優れものの発注方法。前述の５８０円返済売り注文に、例えば「もし４９０円まで下がれば売り」という条件を追加することで、「UターンW指値注文」にできます。

つまり、❶５１０円新規買い指値を出す際に、５８０円の利食い売りと４９０円での損切り売りのセッティングが可能というわけです（図2）。

同様に❷の５９０円新規売り指値を出す際に、「UターンW指値注文」で、５２０円の利食い返済買いと６１０円での損切り返済買いをセッティング（図3）。これでボックス相場の銘柄での、仕掛けから利食い・損切りまで仕込んだ自動売買の完成です。ここでのポイントは「Uターン W指値注文」での損切りの設定でしょう。上級者の方は、むしろ利食いの設定は入れずに、損切りだけUターン注文で設定されたりもします。ぜひ参考にしてください。

「UターンW指値注文」なら新規買いでも新規売りでも、利食い・損切りまでを同時に設定可能

図3 590円新規売りの場合

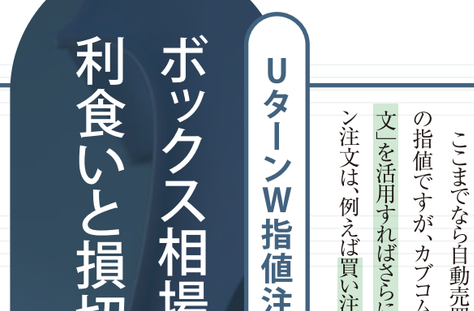
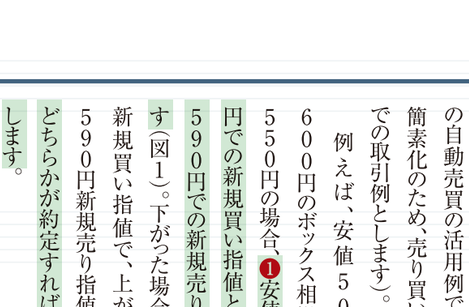


図2 510円新規買いの場合



「UターンW指値注文」▶W指値の注文方法

図2の注文画面

図3の注文画面

「Uターン注文」の注文方法は P7 へ

始値から動いた方で仕掛ける 利食い・損切りもまとめて注文

±指値▼Uターン注文▼±W指値

機械的なシステムトレードも当社の自動売買ならお手の物です。例えば、始値から50円上下どちらか動いた方に乗っていくトレンドフォロー戦略。これを日経平均先物を例に説明しましょう。日経平均先物の始値が1万円だったとします。始値から50円上がれば新規買い、始値から50円下がれば新規売りです。

始値が決まった後の発注なら、普通に1万50円まで上がれば買いの逆指値と、9950円まで下がれば売りの逆指値を出せば済みます(この発注は寄付前の朝8時だと仮定しましょう。もちろん前夜でも構いません)。そうすると、まだ確定していない始値を基準とした注文は普通なら出せません。そこで、活用できるのが「±指値」です。±指値なら①始値プラス50円で新規買い②始値マイナス50円で新規売り」という注文が出せます。なお、始値から50円未満の値動きならどちらも約定しません。

次に、「Uターン注文」を活用して返済注文(利食いと損切り)を設定します。しかし、指値を入れるにも元が①②なので、いくらで売買できているかわかりません(現在は朝8時という想定です)。

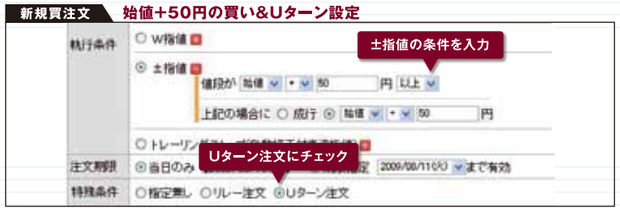
そこで活躍してくれるのが「約定±W指値」「約定±W指値」です。①始値プラス50円で新規買いのUターン注文で、約定単価プラス100円で利食い売り、約定単価マイナス30円になれば損切り売りに訂正、という「約定±W指値」を設定します。整理すると、始値からプラス50円で買って、その約定単価から100円上がれば利食い、30円下がれば損切り、という注文です。つまり「始値±指値→Uターン注文→約定±W指値」という流れになります。始値が1万円なら、1万50円で買って、1万150円の利食いと1万20円の損切り、という設定です。

これを②始値マイナス50円で新規売りでも同様に設定します。Uターン注文で、約定単価マイナス100円で利食い買い戻し、約定単価プラス30円になれば損切り買い戻しに訂正、と「約定±W指値」を設定します。始値が1万円なら、9950円で売って、9850円の利食いと9980円の損切り、という設定です。

これで、始値から動いた方で仕掛け、利食いと損切りまで設定、と一連の流れが簡単にできます。これなら、忙しくて相場を見られないときでも、積極的な短期売買が可能になります。

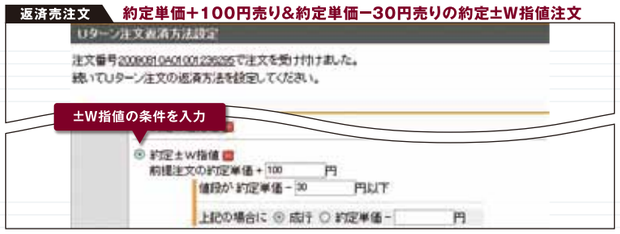
±指値・Uターン注文・±W指値を使った注文方法

新規買注文 始値+50円の買い&Uターン設定

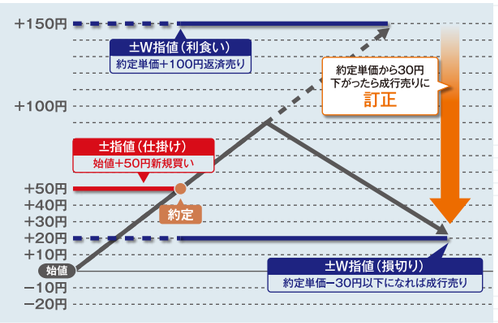


新規買注文確認画面

返済売注文 約定単価+100円売り&約定単価−30円売りの約定±W指値注文



始値+50円の買い&Uターン注文の例



トレーリングストップで逆指値を自動修正

株価変動に合わせて より有利なリスク管理を狙う

トレーリングストップとは、「逆指値(STOP)が、株価によって引っ張られる(TRAILING)注文」のことです。高値／安値に合わせてリアルタイムで逆指値注文を自動修正します。売り注文の場合は「高値マイナス○○円を逆指値とし、高値更新幅に合わせて逆指値を引き上げる」という注文になります。つまりトレーリングストップは、少しでも有利な株価で売買するために、株価動向に合わせて逆指値を自動的に修正する便利な自動売買です。

「高値からマイナス1万円以下になったら成行売り」というトレーリングストップ注文の場合、当初設定したマイナス1万円という値幅で高値を逆指値注文が追いかけていきます(図1)。高値から指定した値幅まで下落したところで自動的に売却注文が発注されますので、株価が上昇した後に急落してしまった場合でも利益確定のタイミングを逃しません(図2)。

またトレーリングストップは翌日以降への繰越しもできるので、高値からの値幅が制限値幅(ストップ安)を超える注文も可能。非常に便利な発注方法なのです(図3)。

図1 トレーリングストップの基本

「高値からマイナス1万円以下になったら成行売り」注文の例

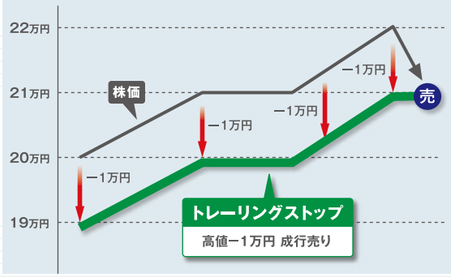


図2 トレーリングストップと逆指値の違い

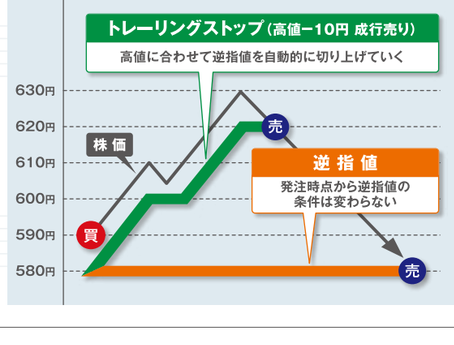
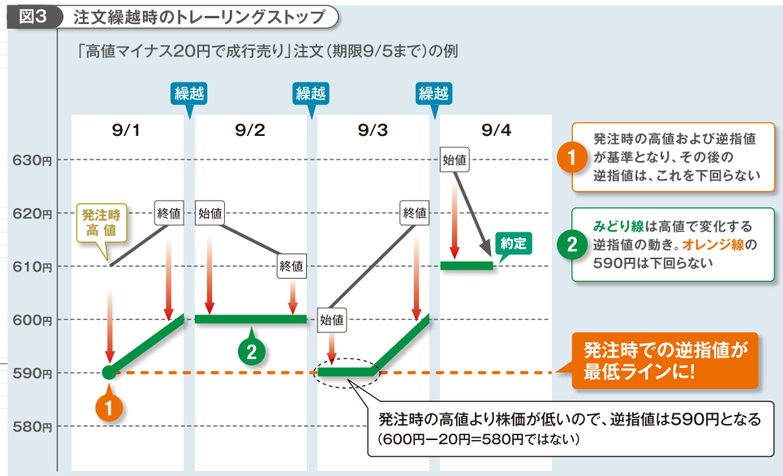


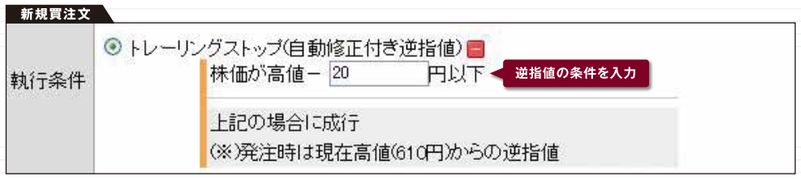
図3 注文繰越時のトレーリングストップ

「高値マイナス20円で成行売り」注文(期限9/5まで)の例



トレーリングストップの注文方法

新規買注文



ただしご注意いただきたいのは、トレーリングストップで逆指値の条件にヒットした場合、実際に発注される注文は成行のみということです。そのため、相場急変時には思いのほか安値(買いの場合は高値)で約定してしまうリスクがあることを理解しておきましょう。

よくある質問

お答えします！カブコムの自動売買FAQ

Q 「株価が600円以下になれば成行売り」という逆指値注文を出したのに、580円で売れてしまいました。どうして？

A 成行注文は約定することが最優先されるため、必ずしも現在の株価で売れる（買える）わけではありません。

逆指値注文に関わらず、自動売買では指定された条件に合致した場合、指定された発注もしくは訂正が行われます。「株価が600円以下になれば成行売り」の場合、株価が600円になった時点で、マーケットには成行売り注文が発注されます。

成行売り注文は、「いくらでもいいから売りたい」という注文であり、その時の市場状況によって600円で売れる場合もあれば、580円や601円で売れる場合もあります。これは自動売買に関わらず、成行注文の特性です。例えば、どうしても600円以上で売りたい場合は「株価が600円以下になれば指値600円で売り」と設定してください。ただし、指値注文の場合、逆指値の条件（600円以下）に合致しても、その時の市場状況によっては売れない場合もありますのでご注意ください。

Q 時価720円の時にW指値で「売り指値800円、株価が650円以下になれば成行売りに訂正」という注文を2週間先まで出していましたが、株価が640円になったのに売れず注文失効になっています。どうして？

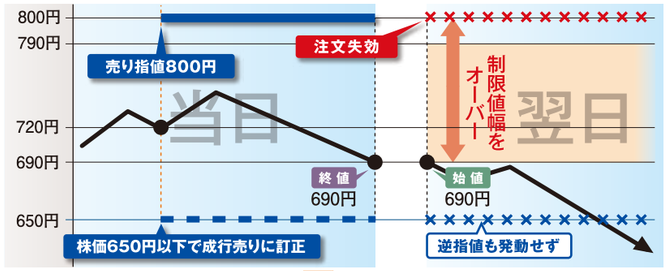
A 取引所には、株価により制限値幅が設けられており、制限値幅を超えた場合は、指値・逆指値ともに注文発注されません。

W指値は、まず指値注文が発注され、その後条件に合致した場合に訂正される注文です。このケースでは、発注時は時価720円なので、売り指値800円はマーケットに発注できていましたが、その後の下落で、例えば前日終値が690円となり、売り指値800円が制限値幅により注文失効してしまったケースです。株価500円以上1000円未満の場合の取引所の制限値幅は100円であり、基準値段が690円の場合、590円～790円の範囲の注文しか受け付けられませんので、株価動向と制限値幅には十分ご注意ください。

なお、発注時に発注画面で「制限値幅エラー時に指値を制限値幅内に自動調整」にチェックを入れ設定いただければ、指値が制限値幅を超えてしまう場合に、自動的に制限値幅いっぱいの指値に調整して発注することができます。前述の例の基準値段が690円であれば、「売り指値790円、株価が650円以下になれば成行売りに訂正」となり、指値790円が発注されますので「株価が650円以下になれば成行売りに訂正」も有効になります。

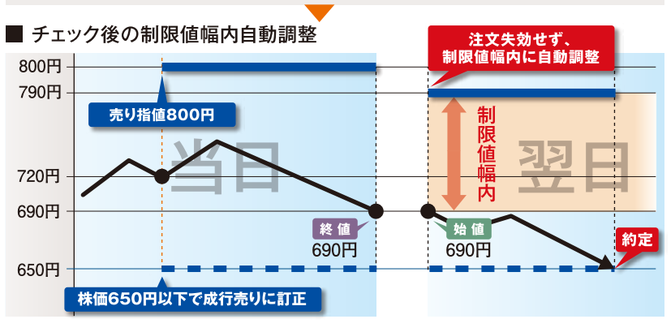
ちなみに、その後、株価が上昇し当初の売り指値800円が発注できる状態になっても、訂正された「売り指値790円、株価が650円以下になれば成行売りに訂正」として発注されます。さらに株価が下落し、前日終値が680円となった場合は「売り指値780円、株価が650円以下になれば成行売りに訂正」と自動調整されます。

■ 制限値幅オーバーによる注文失効



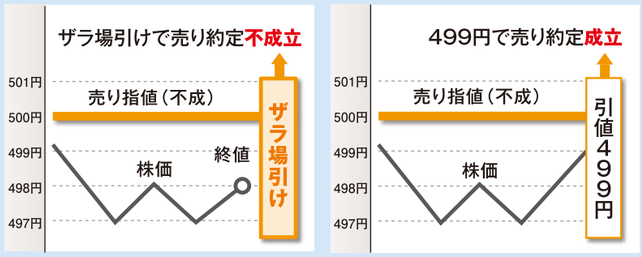
■「制限値幅エラー時に指値を制限値幅内に自動調整」をチェック

■ チェック後の制限値幅内自動調整



「不出来引け成行」「不成」とは!?

「指値（不成）」とは「不出来引け成行」のことで「不成（ふなり）」とも言います。これは指値注文が「引け」までに約定しなかった場合、「引け注文」に自動的に変更される注文です。指値で売買したいが、引けまでに売買できなかった際は引けで約定させたい場合に活用します。しかし、「ザラ場引け」の場合「引値」が存在しないので約定しません。「不成」は絶対ではないことを理解して活用しましょう。



※逆指値での不成の場合、そもそも逆指値の条件に達しなければ、「指値（不成）」自体が市場に発注されませんので、指値でも不成でも約定はしません。

ネット証券で最多を誇る注文方式 自動売買のあゆみ

どこよりも早くサービスを開始してきました。

- **2000年6月** ロスカットの定番！ **逆指値注文**（特許第3875206号）
- **2000年11月** 銘柄の乗り換えに！ **リレー注文®**
- **2001年12月** 時価の上下で両面待ち！ **W指値注文®**（特許第3754009号）
- **2001年12月** 反対売買まで予約！ **Uターン注文®**
- **2002年11月** 未確定の価格を基準に発注！ **±指値注文**（プラマイさしね®）（特許第4076512号）
- **2007年1月** 逆指値を自動修正！ **トレーリングストップ注文**
- **2009年4月** 有利な市場へ自動発注！ **自動最良執行注文**

「成行」と「指値」の違いを理解しよう。

「成行」は銘柄と株数だけを指定し、そのときの相場で売買する約定優先の発注方法です。「指値」は希望の売買価格を指定できますが、必ず約定するとはかぎりません。

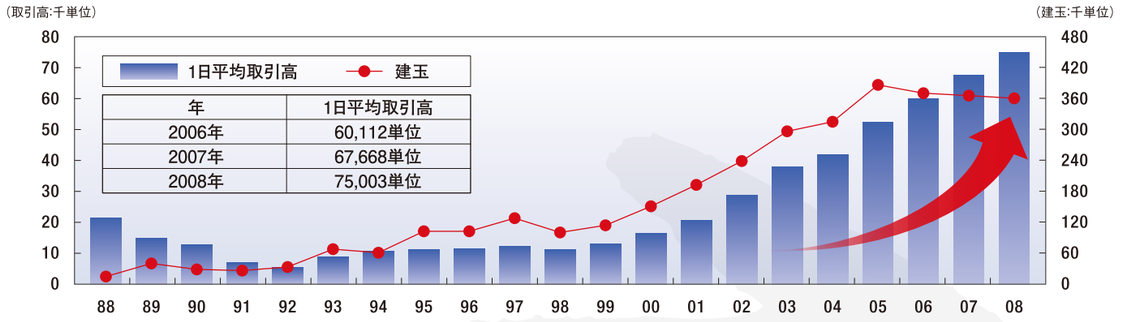
売り注文の場合

現在の株価 605円		
売り注文	株価	買い注文
2000株	610円	
6000株	607円	
5000株	605円	
2000株	602円	
6000株	600円	
	580円	2000株
	578円	6000株
	576円	3000株
	573円	1000株

600円に「指値」注文を出すと、ここに注文が入る。600円より安い注文と、自分より先に入っていた600円の注文が全部なくならないと約定しない。

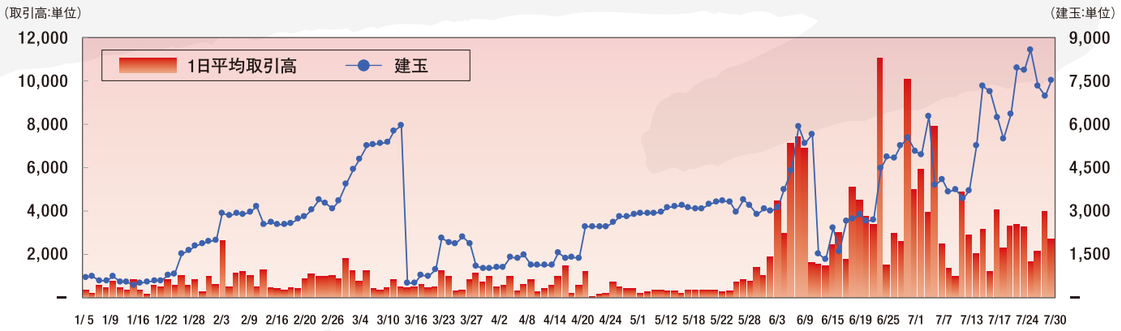
「成行」で売り注文を出すと、580円の買い注文に対して売る形になる。

TOPIX先物1日平均取引高と建玉残高の推移

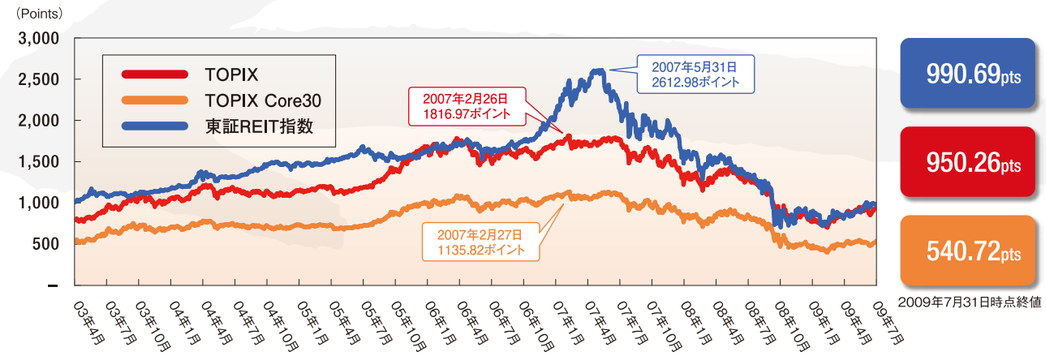


年	1日平均取引高
2006年	60,112単位
2007年	67,668単位
2008年	75,003単位

ミニTOPIX先物取引高と建玉残高推移



指数値の推移



990.69pts

950.26pts

540.72pts

2009年7月31日時点終値

【お取引における注意事項】

当広告は、当社が、先物取引に関する制度の概要説明のみを目的としたもので、先物取引の勧誘を目的としたものではありません。先物取引においては、株式相場、為替相場の変動等によって損失が生じるおそれがあり、差し入れた証拠金の全部若しくは一部を失う、または、差し入れた証拠金を超える損失を被ることがあります。また、相場変動等により証拠金額に不足が生じた場合には、追加差し入れが必要となります。お取引に際しては、あらかじめお取引先の金融商品取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で取引を行っていただきますよう、お願い申し上げます。また、当社は、当広告及び当広告から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。

Tdex
Tokyo Stock Exchange Derivatives

TOKYO STOCK EXCHANGE GROUP

小さくなった、
と大きな声で
伝えたい。

TOPIX先物取引。

それは、東証一部上場全銘柄で構成されるTOPIXを対象とした先物取引。TOPIX構成銘柄は日本の全上場企業の時価総額のうち約97%を占めており、TOPIXは日本経済を象徴した指数、と言っても過言ではありません。

日本経済へ投資をするダイナミックな投資をあなたにも。

「ミニTOPIX先物」で
投資をもっとあなたの身近に

	TOPIX先物	ミニTOPIX先物	TOPIX Core30先物	東証REIT指数先物
立会時間	9:00–11:00、12:30–15:10、16:30–19:00			
限月の数	5限月	3限月（3・6・9・12月限月）		
取引単位	TOPIX × 10,000円	TOPIX × 1,000円	TOPIX Core30 × 1,000円	東証REIT指数 × 1,000円
呼値の刻み	0.5ポイント	0.25ポイント	0.5ポイント	0.5ポイント
1ティック値段	5,000円	250円	500円	500円
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日			
最終決済	SQ値による差金決済			
最低証拠金※	36万円（7月末現在）	3万6,000円（7月末現在）	2万3,000円（7月末現在）	5万3,500円（7月末現在）

※証拠金額はクリアリング機構の定める最低証拠金額であり、実際の証拠金額は証券会社によって異なります。

この商品の魅力に注目!!

新しいサービスも目白押し！
スグにでも始めたい「なるほど！」な商品を
選りすぐってご紹介します。

信用取引
プチ株®
外国為替保証金取引（FX）
指数先物・オプション取引

カブドットコム証券 マーケットアナリスト **藤本 誠之**

大手証券会社などを経て、2008年7月カブドットコム証券入社、現在に至る。著書に『ニュースを"半歩"先読みして、儲かる株を見つける方法』（アスペクト）など。テレビ東京系列「あさカブ」に出演中。日本証券アナリスト協会検定会員。

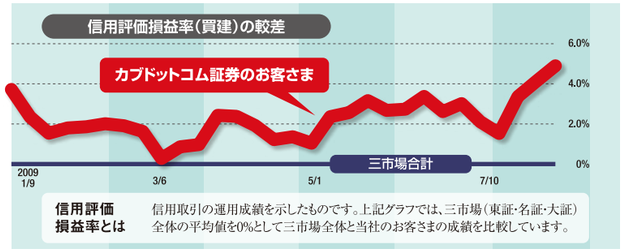
信用取引

実は、今年に入って口座開設が増えてきているのが信用取引です。「ここが買い場」と見た方、「カラ売りで儲けたい」と考えた方、「持ち株のリスクヘッジにつなぎ売りを」と思った方、理由はいろいろでしょうが、信用取引のメリットを活用しようということでしょう。

しかし、現物株取引よりリスクが高い取引であることも事実ですから、より一層のリスク管理が重要です。当社では、自動売買や自動通知サービス等で「リスク管理追求型信用取引」を標榜しています。また、返済期限最大3年の「長期信用取引（一般信用取引）」では、制度信用銘柄も含めて一部の銘柄を除き、ほとんどの上場銘柄を買建可能とし、また、当社が指定する銘柄の売建も行えます。

気になる手数料は、現物株取引よりもおトクな水準に設定。なかでも高額のお取引では手数料が無料になる当社独自の体系としています。前営業日の「建玉残高」または「新規建て約定代金」が８０００万円以上の場合、信用取引手数料は無料（０円）。これにより、「頻繁に売買を繰り返し約定代金が大きくなるお客さま」や「高額の建玉を行われるお客さま」ほど、手数料が割安になっておりますので、ぜひご活用ください。

■ お客さまの投資成績向上を目指して!



厳しい相場環境が続いておりますが、当社の「リスク管理追求型サービス」とそれを活用するお客さまとの相乗効果により、三市場全体と当社のお客さまの信用評価損益率（買建）の較差は相対的に良好となっています。

■ 大口の取引になるほど有利な手数料体系!

信用取引 手数料(税込)		前営業日の建玉残高または前営業日の新規建て約定代金			
		0円以上 3000万円未満	3000万円以上 5000万円未満	5000万円以上 8000万円未満	8000万円以上
約定代金	50万円以下	483円	458円	338円	無料
	100万円以下	798円	758円	558円	
	200万円以下	987円	937円	690円	
	500万円以下	1,155円	1,097円	808円	
	500万円超～100億円	1,260円	1,197円	882円	

9月1日～スタートしました!

信用取引は、割引プラン「ファンドDE割引」「kabuマシーンの日」の対象です。

※前営業日の建玉残高とは前営業日に返済されていない建玉総額。前営業日の新規建て約定代金とは前営業日の新規建て約定金額（売建・買建、内出来を含む）の合計です。※前営業日の建玉残高と前営業日の新規建て約定代金の高い方を適用。※当日6:00以降のご注文は自動的に手数料割引率が適用されます。※取引チャネル、執行条件にかかわらず左記手数料が適用されます。※ジャスダックは「約定代金×0.021%」の追加手数料が別途かかります。※2009年9月1日現在

金利・貸株料 【長期信用取引】買方金利:3.6% 貸株料:1.5%
【制度信用取引】買方金利:3.07% 貸株料:1.15%
その他費用 名義書換料・事務管理費
建玉上限 合計2億円（別途審査により建玉上限の変更可能）
最低保証金額 両取引の保証金を合算して30万円
委託保証金率 両取引の建玉を合算して33%
最低保証金維持率 両取引の建玉を合算して25%

創業10周年を迎え、さらに"安心・安全"なカブコムへ。

企業の情報管理体制に対する不安を払拭する強固な内部管理体制や、
お客さまに安心してサービスをご利用いただけるような環境を、
カブドットコム証券はこれからも提供し続けます。

セキュリティ体制の強化

本社移転にあたり、監視カメラ（常時撮影カメラ、センサー付カメラを並行導入）を死角なく全オフィスエリアに配置。さらに虹彩認証システムを最新鋭機種にリプレイスし、認識精度を向上させた入退室管理システムも導入しています。

万が一の場合もしっかり守る お預り資産〈あんしん〉宣言

お客さまからお預りした大切な資産は、厳格な管理体制のもと、法律にて義務づけられた「分別保管制度」によりしっかりとお守りしています。したがって、当社が万が一破綻しても、お預り資産は確実にお客さまに返還することが可能です。なお、この分別保管に不足金が発生した場合には、「日本投資者保護基金」による補償がありますのでご安心ください。

お客さまに"5分"の約束 SLA（サービス品質保証制度）

株式注文の取引所等への取次時間が5分を超えて遅延しないことを保証するSLA（サービス品質保証制度）は今後も引き続き導入。もし5分を超えて注文処理が遅延した場合には、仮に遅延がなかった場合に約定したであろう最良価格と比較し、お客さまに不利な場合にはその差額を返却（値合金処理）いたします。

SLA（品質保証制度） 5minutes

※リレー注文、Uターン注文で約定が条件となる場合等は6分となります。詳細は、SLA規程をご参照ください。

日本格付研究所 長期優先債務格付け A+

カブドットコム証券は、日本格付研究所の「長期優先債務格付け」において、安定的な経営を続けることができるとする「A+（シングルAプラス）」を取得しています。

※2009年8月現在

本社を移転し、カブコムは新たなスタートを切りました。

創業10周年を節目に、本社を中央区新川から千代田区大手町へ移転しました。大手町ならびに丸の内地区に拠点を構える数多くのMUFGグループ各社と一層の連携強化を図ることで、さらなる飛躍を目指します。

プチ株®

プチ株とは、通常１００株や１０００株など各銘柄ごとに決められている売買単位未満の株数で売買できる「単元未満株取引」のことです。通常の取引所での売買では「20万円以内で買える銘柄」といったように、少額での株式投資では単元株制度があるのでどうしても制約がありますが、プチ株なら単元未満株の取引なので、もっと自由な売買が実現できます。少額投資の可能性を広げてくれるのがプチ株なのです。

例えば、株価３０００円で、１００株単元の銘柄の場合、取引所で通常買うと約30万円必要です。しかし、今

この株を買う予算はそんなにない、または一つの銘柄にまとめて投資するのははばかられる、といったケースでは、この銘柄の購入をあきらめるしかありません。

そういう時に、このプチ株が役立ちます。

「予算の範囲内で買える株数だけ買いたい」

「予算の範囲内で複数銘柄に分散投資したい」

プチ株なら、こういったケースでも購入をあきらめる必要はありません。

少額投資の代表として知られる株式ミニ投資（ミニ株）と比べれば、なおさらプチ株の良さが際立ちます。内容面でプチ株が劣ると思われる点はほぼありませんし、本人名義で単元株取引との連動性が高いのも魅力です。

いわゆるミニ株は、名義は証券会社名義であり、正確には株式投資ではありません。プチ株は単元未満株ではありますが、本人名義でれっきとした株式投資です。さらに、売買単位は株式ミニ投資では単元の10分の1単位でしか売買できないなど、本質性だけでなく利便性でもプチ株の方が優れています。

WEB上でご覧いただける**プチ株・プチ株つみたて早わかり読本**」で、より詳しくご案内しておりますので、ぜひご参照ください。

■ 他と比べて、便利で利用しやすいのが特長です!

比べれば一目瞭然!	プチ株®	株式ミニ投資
売買単位※1	1株	単元株の10分の1
名義人	投資家（お客さまご自身）	取扱証券会社
手持ちの単元未満株の売却	○	×
手持ちの単元未満株に買い足しての単元株化	○	×
取引タイミング（東証の場合）	発注時間により前場始値・後場始値（1日2回）	翌営業日の始値※2

※1 売買単位はいずれも、整数倍になります。※2 購入日は証券会社によって異なります。

さらに、手数料値下げ!

プチ株®新手数料（税込）2009年5月から

約定代金2万円まで **105円**

2万円を超える部分に対して1万円までごとに **70円加算**

▶ 手数料の例 最大44%値下げ!

約定代金	20,000円	25,000円	30,000円	50,000円	100,000円
手数料	105円	175円	175円	315円	665円

プチ株®は、割引プラン「kabuマシーンの日」「ファンドDE割引」の対象です。

※オペレーター（電話）経由の場合は、上記手数料に2,100円を加算（最低手数料2,205円）。※前日終値で計算した予定受渡金額概算※1が3,000円以下となるオペレーター経由の売却注文は承れません。※約定代金が、105円以下となる売却については、手数料が0円で計算されます。※2009年9月1日現在
※1 予定受渡金額概算:前日終値から導き出されたストップ安の金額に株数を掛けたものを指します。

コツコツ派の方には! プチ株®つみたて

- 毎月1万円以上1円単位で金額を指定できる!
- 自動引落を好きな日にちに設定できる!
- さらに 積立回数に応じておトクになる手数料!

最低手数料 52円

▶ プチ株®つみたて新手数料（税込）

積立回数	手数料
初回	約定代金2万円まで105円 2万円を超える部分に対して、1万円までごとに70円加算。
2回目	プチ株®の手数料の10%割引
3回目	プチ株®の手数料の20%割引
4回目	プチ株®の手数料の30%割引
5回目	プチ株®の手数料の40%割引
6回目以降	プチ株®の手数料の50%割引

※手数料計算はお申し込みいただく指定金額ではなく、実際の約定代金を元に計算します。
※2009年9月1日現在

外国為替保証金取引（FX）

2009年8月より、主要4通貨（米ドル／円、英ポンド／円、豪ドル／円、NZドル／円）の固定スプレッド（買値・売値の差）を縮小しました。米ドル／円は4銭から半分の2銭に縮小、英ポンド／円は10銭から一気に6銭まで縮小しました。

また当社のスプレッドはマーケット動向に関わらず変動しない「固定スプレッド」です。スプレッドについて（FXを行っている方はよくご存じだと思いますが）少しお話しさせていただきますと、当社のFXでは、買値（BID）と売値（OFFER）を当社が提示し、

お客さまにお取引いただく取引です。

上の表の場合、米ドル／円が96・00（BID）、96・02（OFFER）となっております。この場合、お客さまが米ドルを買う値段は1ドル96・02円（当社の売値）、売る値段は1ドル96・00円（当社の買値）ということになります。

kabu.com 外国為替保証金取引→トップページ

通貨ペア	BID	OFFER	OPEN	HIGH	LOW	CL
米ドル／円	96.00	96.02	96.02	96.08	95.91	
ユーロ／円	135.84	135.88	135.85	135.97	135.72	
ポンド／円	158.24	158.30	158.23	158.39	158.03	
豪ドル／円	79.66	79.71	79.60	79.73	79.53	

ということはスプレッドは小さい方が断然お得です。他のFX会社の中には狭いスプレッドを宣伝しながらも相場急変時にスプレッドが急拡大する場合もあると聞きますが、当社の「固定スプレッド」はサービス開始以来、お客さまにご提示したスプレッドが拡大したことはありませんので、より安心してお取引いただけます。

ところで当社のコース名は、1万通貨（米ドルなら1万米ドル）の取引にかかる保証金がコース名です。保証金が小さくなるほどレバレッジは大きくなります。レバレッジが大きい方が少ない保証金で大きな取引ができ、わずかな値動きで、大きな益にも大きな損にもつながります。そこでリスク管理が重要になります。

さらに新規建ての際に選択した保証金コースは、相場や投資方針の変化に応じて建玉保有中に変更可能。十分な保証金があれば、決済なしでもコース変更でリスク管理をコントロールできますので、ぜひご活用ください。

ネット証券のなかで、FXの保証金として株券・投資信託を担保にできるのは当社だけです。株券を担保に2・5万円コースなどの高レバレッジを活かし、価格変動で大きな利益を狙う方法や、比較的低レバレッジの100万円コースなどでは、外貨預金感覚でスワップ金利獲得狙いなど、資産の有効活用も自由自在です。

FX取引は信頼できる金融機関で行うことをオススメします。「三菱UFJフィナンシャル・グループ」の当社で、ぜひ外国為替保証金取引（FX）のご活用をご検討ください。

手数料	
片道2銭均一	1万通貨あたり 200円

※手数料は非課税です。取引チャネル・執行条件にかかわらず上記手数料が適用されます。

■ 保証金コース・通貨ペア一覧

コース名	通貨	対日本円 米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	NZドル	カナダドル	スイスフラン	シンガポールドル	香港ドル	南アフリカランド	対米ドル ユーロ	英ポンド
	前提為替（1通貨=）	95円	134円	155円	77円	62円	85円	88円	65円	12円	12円	1.42ドル	1.65ドル
NEW!	固定スプレッド	2銭	4銭	6銭	5銭	6銭	8銭	6銭	5銭	2銭	6銭	4P	4P
保証金100万円コース	レバレッジ（倍）	0.95	1.34	1.55	—	—	—	—	—	—	—	1.35	1.57
	必要保証金	100万円										100万円	
保証金50万円コース	レバレッジ（倍）	1.90	2.68	3.10	1.54	1.24	1.70	1.76	1.30	—	—	2.70	3.14
	必要保証金	50万円			50万円							50万円	
保証金30万円コース	レバレッジ（倍）	3.17	4.47	5.17	2.57	2.07	2.83	2.93	2.17	—	—	4.50	5.23
	必要保証金	30万円			30万円							30万円	
保証金10万円コース	レバレッジ（倍）	9.50	13.40	15.50	7.70	6.20	8.50	8.80	6.50	1.20	1.20	13.50	15.70
	必要保証金	10万円			10万円					10万円		10万円	
保証金5万円コース	レバレッジ（倍）	19.00	26.80	31.00	15.40	12.40	17.00	17.60	13.00	2.40	2.40	27.00	31.40
	必要保証金	5万円			5万円					5万円		5万円	
保証金2.5万円コース	レバレッジ（倍）	38.00	53.60	62.00	30.80	24.80	34.00	35.20	26.00	4.80	4.80	—	—
	必要保証金	2.5万円			2.5万円					2.5万円			

※必要保証金は1万通貨あたりの金額です。当社が提示する売値と買値の間には差額があります。※平成21年8月3日に金融商品取引業等に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令が公布され、外国為替証拠金（FX）取引のレバレッジ「証拠金倍率」は平成22年8月1日から最大50倍、平成23年8月1日から最大25倍となることが決定されております。※2009年8月3日現在

指数先物・オプション取引

長年プロ向け商品と思われていた指数先物・オプション取引も、今や個人投資家が普通に取引できる商品となりました。確かに指数先物・オプション取引は投資元本を上回る損失を被る恐れもある商品です。しかし投資対象がなじみの深い日経平均やTOPIXというインデックスなので、銘柄選びの煩わしさがないことや流動性が高く、カラ売り規制など取引制限が少ないことなどを理由に投資のメインにされている方も増えています。また、日経平均やTOPIXなどのETF（上場投信）などと組み合わせて、疑似裁定取引などの投資手法を試みられる方も増えているようです。

最近では先物証拠金面からもリーマン・ショック以降に急落相場で急激に拡大したSPAN証拠金がピークから半分以下に低下してきました（2009年8月現在）。

当社では指数先物・オプション取引証拠金はSPANパラメーターを元に計算していますが、2009年7月から掛目を120%から110%に引き下げております。

日経225mini先物・ミニTOPIX先物・TOPIX Core30先物・東証REIT指数先物の最低10万円の証拠金を撤廃し（ラージ先物当初証拠金50万円も撤廃）、かなり取引しやすくなりました。

さらに、トレーリングストップ、±指値をはじめとする自動売買がパソコンだけではなく携帯アプリなどモバイルでも取引可能。先物オプション専用のニュースなど情報サービスも充実。上場デリバティブの銘柄数はネット証券最多を誇り、株式・投資信託が担保にできるなど「先物・オプションならカブドットコム証券」とご評価いただけるポイントがたくさんあります。

昼も夜も、断然サービス充実のカブコムを、ぜひご活用ください！

さらに、この秋から
CME日経225先物（夜間先物取引）の
取扱いを開始!
お得なキャンペーンや詳細は
当社ホームページを
ご覧ください!

■ 指数先物・オプション取引の概要

指数先物・オプション取引は、割引プラン「kabuマシーンの日」の対象です。

銘柄	日経225先物	日経225mini先物	TOPIX先物	ミニTOPIX先物	TOPIX Core30先物	東証REIT指数先物	日経平均オプション
取引単位	日経225 ×1,000	日経225 ×100	TOPIX ×10,000円	TOPIX ×1,000円	TOPIX Core30 ×1,000円	東証REIT指数 ×1,000円	オプション価格 ×1,000倍
呼値の刻み（1枚あたり）	10円（10,000円）	5円（500円）	0.5ポイント（5,000円）	0.25ポイント（250円）	0.5ポイント（500円）	0.5ポイント（500円）	—
手数料（1枚あたり）	987円	105円	945円	105円			約定代金の0.63%（最低105円）
必要証拠金額	SPAN®証拠金額×110%ーネット・オプション価値の総額						
証拠金掛目	◆現金：100%　◆公募投資信託：前々営業日の基準価額の70%　◆上場株式：前々営業日の最終値の70%　◆ETF・REIT：前々営業日の最終値の70%						
執行条件	指値、成行、寄付、引け、不出来引成、引け指値、逆指値、W指値、±指値、Uターン注文、リレー注文、トレーリングストップ、先物価格・原資産価格を条件に設定する注文、一括返済						
チャネル	インターネット、iモード、Lモード、Yahoo!ケータイ、EZweb、AIR-EDGE PHONE、モバイル						

※手数料は税込です。※SQ決済時に権利放棄の場合手数料は無料。またマイナスとなる場合はマイナス分の請求は行いません。※SPAN®証拠金は、取引所により見直しが行われますので、最新の金額は当社ホームページにてご確認ください。※2009年9月1日現在

最短即日 カブコムなら、即時口座開設が可能*!
*当社の証券口座をお持ちの方が対象です。
口座開設・管理料は 無料!

信用取引口座開設 申込
先物OP口座開設 申込
FX口座開設 申込

信用取引の口座開設のお申込みがカンタンになりました。印紙税4,000円も不要。しかも、今なら『信用取引の奥義』をプレゼント!

口座開設で
先着2,000名様にプレゼント!

書面による手続きなし、パソコン操作のみで口座開設まで完了できます。
ログイン後のマイページから、各取引の口座開設申込ページにお進みください。

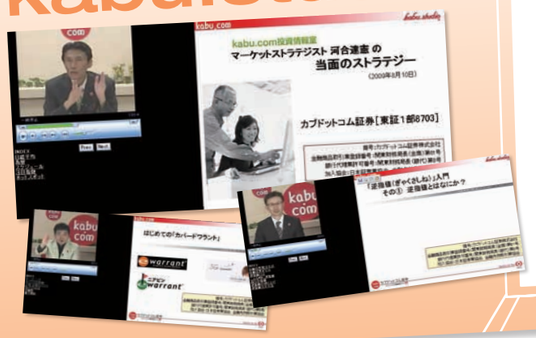
カブドットコム証券のホームページには、
投資に役立つWEBコンテンツが満載!

今スグCHECK!
http://kabu.com/

株式投資の基礎知識から各種サービスの活用方法まで、豊富なメニューを取り揃えるオリジナル動画を配信。
また、さまざまな"使える"資料のPDFダウンロードや、テレビ東京系列で好評放映中の「あさカブ」とも
連動した投資情報の配信など、ネットトレードを快適にするサービスを多数ご用意しています。ぜひご活用ください。

動画コンテンツ 自宅にいながら投資セミナー! 24時間365日いつでも視聴可能です!

kabu.studio



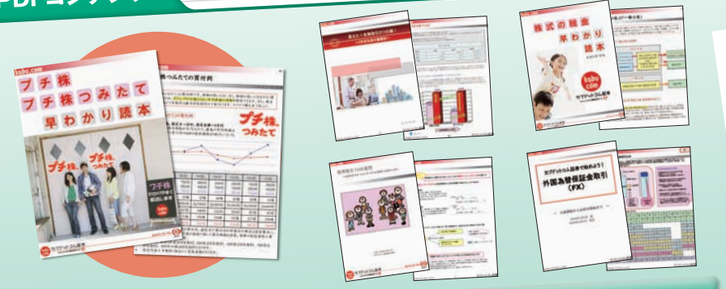
kabu.studioメニュー一覧

オリジナル投資情報	株式投資入門	自動売買
信用取引	kabuマシーン	先物・オプション取引
投資信託	外国為替保証金取引(FX) カバードワラント	情報ツール テクニカル分析 ABC

当社が誇る投資情報室アナリスト陣の相場解説から、お取引に関する身近な疑問の解消方法まで、動画+スライドによりわかりやすくご案内。最新コンテンツも随時追加されます。

随時新しいコンテンツが追加されます。お見逃しなく!

PDFコンテンツ お役立ち情報が盛りだくさんの各種資料をPDFで無料ダウンロードOK!



ビギナー向けの基本操作ガイドやベテラン向けのステップアップアドバイス集、証券税制について説明している読本など、さまざまなお役立ち情報が無料でダウンロード可能です。

各商品の紹介ページよりダウンロード可能です。
ダウンロード方法等詳細はホームページにてご確認ください。

情報コンテンツ カブコムだからお届けできる、とっておきのネタを取引時間中に無料配信!

kabu.com投資情報室

kabu.com投資情報室イメージ

大手ネット証券初、取引時間中に随時オリジナル投資情報をお客さま向けに無料配信するサービスです。日々のマーケット動向から最新金融情報、投資手法などをわかりやすく解説。さらに、好評放映中のTV番組『あさカブ』との連動記事を、当日の午前と午後の2回、出演者が自ら配信します。

マーケットストラテジスト
河合 達憲

マーケットアナリスト
山田 勉

カブコム news 2009 Autumn

最先端のサービスをあなたに！

独自の新サービスを次々と提供しているカブドットコム証券から、
2009年注目の商品・サービスをご紹介します！
投資力強化・投資成績アップの手段として、ぜひお役立てください！

news1
「CME日経225先物（夜間先物取引）」

CME日経225先物（夜間先物取引）取扱いスタート！

朝のニュース番組等で「シカゴの日経平均先物は昨日の大証より50円高い10,350円です」等と伝えられる、あのシカゴ・マーカンタイル取引所（CME）で取引されている「CME日経225先物」が、ついにカブドットコム証券でお取引いただけます。

CME取扱い開始により、**24時間の内最大18時間25分も日経225先物が取引可能**。
もちろん、逆指値等の自動売買も充実し、
夜間の入出金も即座に反映、
追証の差し入れ期限は翌営業日の19時までと
高い利便性も魅力です。

日経225先物取引可能時間

*シカゴ時間は冬時間です。

詳細は
当社ホームページを
ご確認ください。

SPAN® 当社はCMEのリアルタイムSPAN®計算プログラムのライセンスを取得していますので、大証・東証の先物取引同様、効率的なお取引が可能です。

http://kabu.com/item/

news2
カブ板ボードフラッシュ

「カブ板ボードフラッシュ」が新登場！無料でリアルタイム板画面を同時に9銘柄表示

新登場の「カブ板ボードフラッシュ」は、板画面を同時に9銘柄表示できる優れもの。刻々と変動する株価や板情報をリアルタイムにわかりやすく表示します。無料の自動更新株価チェックサービスで板画面が同時に9銘柄も表示できるのは異例中の異例で、人気爆発間違いなしといったところでしょう。

今回は開発中の画面を少しだけご紹介します。その他の「カブボードフラッシュ」シリーズも大きな変更はありませんがバージョンアップしています。乞うご期待！

news3
「kabuマシーン™」

「kabuマシーン™」の料金プランを改定！よりご利用いただきやすくなりました

Point 1 基本料金改定 → 6ヶ月おまとめ払いプラン導入！

Point 2 信用取引口座、指数先物・オプション取引口座向け料金体系 → 新料金体系でご利用料金が最大で（1ヶ月あたり）1,890円お得！

おまとめ払いプラン導入で、6ヶ月分のkabuマシーン™ご利用料金を一括でお支払いいただけるようになり、決済の利便性が向上しました。また、ログイン後のお客様ページからのお申込みが可能になりました。

news4
Googleケータイ向けお取引サイト

「docomo PRO series HT-03A」向けお取引サイトをオープン（NTTドコモ「ケータイするGoogle™」に正式対応）

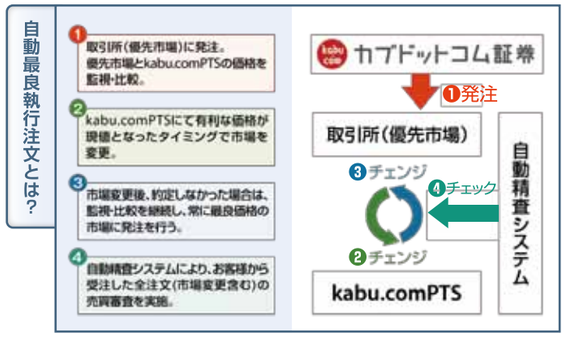
画面イメージ

株式会社NTTドコモ、ケータイするGoogle™「docomo PRO series HT-03A」向けに最適化したお取引サイトの無料提供を2009年8月より開始しました。今後もスマートフォン向けサービスの強化および研究に注力し、お客さまのニーズにお応えしていきます。

カブコムはお客さまのお取引環境にマルチに対応！ iPhone、EZwebを始めパソコン、携帯電話、電話・FAXなど多彩なアクセスチャネルで24時間365日お客さまのサポート体制を充実させています。

news5
自動最良執行注文

2009年4月より自動売買に新たな注文方法が登場！



国内初、国内取引所と当社私設市場（kabu.comPTS）の2つの市場の株価をお客さまに代わり監視し、最良価格がある市場を自動的に選択し注文執行する。それが「自動最良執行注文」です。お客さまは自動最良執行注文を選択して、通常の指値注文と同様に指値価格を指定し、発注するだけです。

SLA対象 SLA（品質保証制度）

全発注方式について、株式等のご注文の各証券取引所やkabu.comPTSへの取次ぎが、5分を超えて遅延しないことを保証する「SLA（サービス品質保証制度）」の対象となっています。詳細はP13をご覧ください。

広告

OSE Osaka Securities Exchange

株式会社大阪証券取引所

http://www.ose.or.jp

より便利に!
より多様に!

リスクヘッジ・リスク分散を考える大阪証券取引所の個人向け金融商品

◎日経225mini & 日経225先物
- イブニング・セッションが20時まで時間延長

◎日経225オプション
- 権利行使価格（期近3か月）が250円刻み

◎上場カバードワラント
- 昨年9月取引を開始した新商品
  http://www.ose.or.jp/stocks/ind_cw.html

◎大証FX
- オークション型ＦＸ　取引スタート
  http://www.ose.or.jp/ose-fx/

◎上場投信（ETF）
- 金，株価指数，通貨型に加え，WTI原油登場
  http://www.ose.or.jp/stocks/ind_et.html

【ご注意】
当広告は、(株)大阪証券取引所の上場商品の概要説明を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
先物・オプション取引、上場カバードワラント、大証FX、上場投信は相場変動等により損失を被るおそれがある金融商品です。取引に際しては、商品の性質やリスクを十分ご理解いただいたうえで、ご自身の判断と責任で行っていただきますよう、お願い申し上げます。

この機会にぜひご検討ください

カブコムの お申込みはお済みですか!?

特定口座&配当金自動受取サービス

損益の管理や確定申告、配当金の受取りも、カブコムならカンタンらくらく!

カブコムの特定口座 おすすめのポイント

▶ **自動的に損益を計算し代理で納税!**
「特定口座（源泉徴収あり）」を選択すると、上場株式等の譲渡益に対する所得税・住民税を計算し、売却益から源泉徴収を代理で行います。

つまり! 「特定口座（源泉徴収あり）」なら確定申告が不要!

▶ **年間取引報告書で確定申告もカンタン!**

▶ **株式分割などにも対応!**

上場株式等の譲渡損失の繰越控除等の適用を受ける場合には、特定口座（源泉徴収あり）の場合でも確定申告が必要になります。

配当金自動受取サービス おすすめのポイント

▶ **配当金を当社のお客様口座でお受取りできます!**

注目

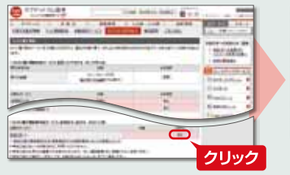
▶ **特定口座での損益通算も可能になります!**
※「配当金自動受取サービス」（株式数比例配分方式）をお選びいただきますと、2010年から特定口座に国内上場株式の配当金を受け入れ、特定口座内での損益通算が可能となる予定です。

▶ **配当金の入金履歴を当社のお客様口座で確認可能!**

▶ **入金をお知らせする自動通知サービスも!**

お申込みはログイン後のマイページからカンタンに!

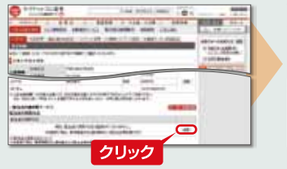
1 ログイン後のマイページ「設定・申込」▶「電子契約（書類請求）」より、特定口座開設の資料の申込手続きをしてください。



2 資料請求申込画面より、【申込】のボックスをチェックして、お申込みください。

1 ログイン後のマイページ「設定・申込」▶「お客さま基本情報」のページへ。

2 「配当金自動受取サービス」の「配当金の受取方式」の【変更】をクリック!



3 「配当金自動受取（株式数比例配分方式）」を選択し、【確認画面】をクリック。内容を確認の上、【変更】をクリックし、お手続き完了!

お客様サポートセンターでもお申込み可能です。≫ **0120-390-390**
オペレーター受付時間:平日・午前8時～午後5時
自動音声応答受付時間:24時間

カブコムは手数料の割引プランも充実!!

※2009年9月1日現在

kabuマシーンの日
毎月19日*は、kabuマシーンから発注された注文の委託手数料が1割引になります。
*19日が休日の場合は翌営業日がkabuマシーンの日となります。

対象商品 現物株式取引／信用取引／プチ株／先物・オプション取引

シニア割引
現物株式の売買手数料を満60歳以上のお客さまは10%割引、満50歳以上満60歳未満のお客さまは5%割引とする割引プランです。

株主推進割引
これから対象銘柄を購入し株主となられる投資家の皆さまへの割引制度。現物株式の買付手数料が最大で通常の半額となります。

株主推進割引銘柄と割引率
カブドットコム証券(8703) …… 50%
三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306) … 10%
泉州銀行(8372) …… 10%
中京銀行(8530) …… 10%
ジャックス(8584) …… 10%

ファンドDE割引
当社でお預かりしている投資信託の月末残高1000万円ごとに、翌月の株式手数料を1回無料とし、受注日の翌月末にキャッシュバックします（残高1億円以上は10回）。

対象商品 現物株式取引／信用取引／プチ株／kabu.comPTS／上場カバードワラント

kabu.com 株主優待
当社株式の保有株数と保有期間に応じて、当社の現物株式取引の手数料が最大15%まで割引になります。

※割引率はお客さまが保有している当社株数・保有期間によって異なります。詳細は当社ホームページにてご確認ください。